

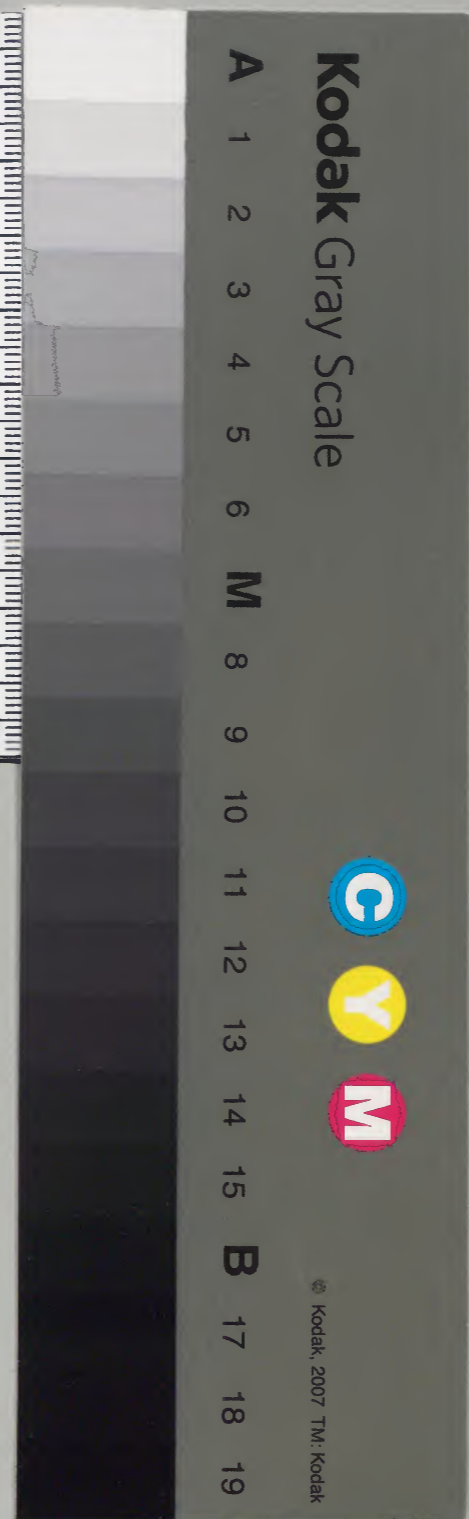
落穂集

卷之五

和書門		
二五二七五號	九七函	五册
架	架	架

庫文閣内	和書類
二五二七五號	五册
七〇函	二架

内閣文庫	
番號	和 25275
冊數	5 (5)
函號	170 89



落穂集卷之五

目録

以前所方諸貢買の事

朝鮮人参の事

緬甸の事

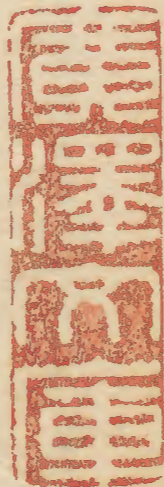
江戸大繪巻の事

道灌山の事

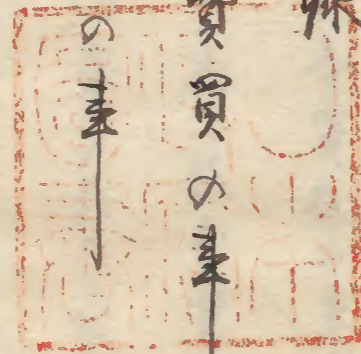
一 平仔豆の殿阿部豊後殿と同族沙門の事

一 山縣三郎多清の事

一 清治世の事



大道寺友山綴之



一 同遊加

同録 終

落穂集 卷之五

以系所方諸賣買物の事

一 同遊曰湯島地町方が所て松賣買物保の義ハ已兼ト唯今ト因系の
 假不有ト云々昔て曰松葉の若手時分ト今違ト云々昔て云々
 終し而云々七根年才ト已前ハ湯島地の町甲少ト是代松葉賣買物
 松葉指店押ト云ハ是れも是高ト云々ト云ハ子細ハ大古年ト
 系の假ハ大古年ト云ハ是れも是高ト云々ト云ハ子細ハ大古年ト
 中かく有ト云ハ是れも是高ト云々ト云ハ子細ハ大古年ト
 の交度と云トは是れも是高ト云々ト云ハ子細ハ大古年ト
 是れも是高ト云々ト云ハ子細ハ大古年ト

てい、且まきと着しふつと夜と寝かす、小取替もあき、此令
と度、其のゆく思ひかゝりて家と離れし妻とを思ひて軍旅小
月日と送る事幸か、いふ年のの候て、故と如赤む、之次小農人
百姓の候も、戦國の高ハ軍役の進退夫か、と、候、其の小高り
ゆきもつと農業と初め、暇あく、そ上毎度の戦場小、其の
惟長柄、其持等、を、小、難人の族、敵の、乃小討も、相果、其、此
其、あく、て、い、わ、竹、と、之、を、礼、世、小、人、奉、公、と、仕、浪、人、者、と、を、も
稀、か、か、と、以、て、大、方、ハ、知、行、不、相、一、別、成、百、姓、ま、の、中、少、て、ま、ま
も、健、り、候、者、有、た、と、い、理、由、を、か、ら、あ、り、て、軍、場、の、位、不、連、行、あ、り
政、少、直、多、の、親、妻、子、の、欲、き、思、ひ、や、ぶ、と、い、ふ、小、竹、ハ、天、正、十、八

年、山、東、陣、の、後

権、現、孫、國、東、山、小、國、は、其、の、御、村

の百姓の候、其、目、と、あ、り、ら、ま、の、有、候、を、千、石、の、名、を、長、百、姓、あ、り、ま
あ、り、小、座、と、張、を、と、着、あ、り、ま、と、い、は、形、も、ま、り、田、中、が、配、小、布、子
と、物、を、ま、り、一、徳、帯、と、候、一、葉、か、い、髪、と、ま、を、祢、あ、り、者、斗、り、の、候、小
あ、り、り、ゆ、き、時、代、の、老、人、の、物、語、と、あ、り、ま、り、事、前、不、小、今、時、の、百、姓
其、の、家、所、と、一、大、方、小、座、と、張、を、と、着、あ、り、ま、り、同、小、祢、と、ま、り、日、ら、延、保
と、あ、り、ま、り、百、姓、あ、り、ま、り、稀、が、や、く、也、衣、類、等、の、候、も、方、か、た、不、候
者、あ、り、者、の、名、別、と、候、一、髪、小、い、え、信、と、卷、三、髪、小、袖、と、候、一
ゆ、き、有、り、ま、り、時、の、名、を、長、百、姓、と、候、者、有、の、中、小、い、信、不、源、と、ま
最、多、の、ゆ、き、の、名、を、信、と、ま、り、や、く、候、者、も、除、き、有、り、り、也、是、也、信

幸亦如大老職の中より備前中細言秀承五奉行の中より石田
治部兵衛之取成り大老の中より高橋宗行安井玄圃等之輩はと
合つていふ事ありて運と企諸大名と進め諸人の慶長六年庚子の
兵礼と記し日本國中の軍勢東西分ちし藩制因原を以て
天下分ちて大合我有りし別し高橋宗行譜代久持元之次大老
秀忠柳の蔭かり本常治と云ふ戦はと成て因系は合我の事不合有
りし一万の餘りし上方界は信の山崎方と成ての史合我と有し山崎
利の程ありて有りしと諸人續りて下野列山に於て山崎藩を
し上りて豊後界の諸大名美田善政細川忠興の孫高橋宗元池田
輝政福高正別後許幸長府高島忠尚等流系中細言秀

秋と殆く上方流悉く山崎方にして逆元の軍勢と切當と云ふは
て山崎方にして山崎下野と忠告御井伊右衛門本多忠勝保元氣
小違事あり事にして毛利山崎方と云ふは山崎代元の中よりと
流しし事あり流しし事ありと云ふは山崎方にして山崎代元の中よりと
山崎方のついで天下に山崎方一山崎方ありて山崎方と有は果
爾本朝は古今例し山崎方ありて右の流と成て右考
早も如く天のゆきせり山崎方ありて山崎方ありて山崎方ありて
権現流保の山崎方ありて山崎方ありて山崎方ありて山崎方ありて
山崎方ありて山崎方ありて山崎方ありて山崎方ありて山崎方ありて
山崎方ありて山崎方ありて山崎方ありて山崎方ありて山崎方ありて

の日記の中にも虎崎の相違を上下の事に入申し仁徳
の備りたる事

而大将権の山産の事

此女子扱りの護柳有り山草の事

権現権の事の中大小の山合戦の事

公彦と有し中江州御川遠州の事

長子子港列國を原廿六合戦とす

馬の事と有し相違の事

事小して有し山草の事

権現権の事の中仁徳の事

て自分の政令と云ふ事

相御の事の中仁徳の事

兵と市小備の事

候の事の中仁徳の事

有仁徳有大将の備

大将の事の中仁徳の事

権現権の事の中仁徳の事

而大将権の事の中仁徳の事

権現権の事の中仁徳の事

事の中仁徳の事

年月相満りの後日氣の事一ともさき頃(ま)ひ百未の候と
知りあふ人々稀か成行りしなり

権現様の沙加言由善行の習ふと後と承り及ひ身者也
そとやくて長久保名と法会のあり候、各由事一も奉存り候
ての候、右に述ゆく、智仁尊の由之徳、由竹ひと成る
由人極と

東照宮大権現様と宗致降り奉り上石の諸
神達小傍り、此様ももや、女もも由者、言必極と、此由
座、備置、凡姑の浅き、今時の世俗、由信仰、一と、志、も
き、遠西天竺の佛の中、成現音葉、昨地、成保と信、成候

或ハ本朝上代の諸神達と身神と思ひて宗致仕

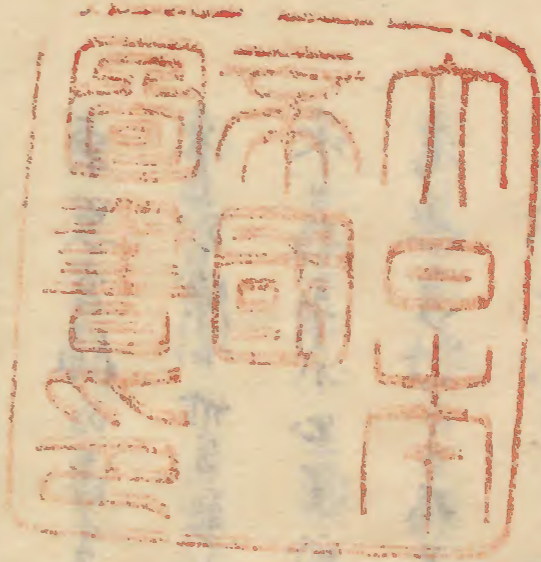
東照宮様の由、由深遠一と、有、此思、候、も、由、中、者
と、よ、く、存、候、と、き、右

権現様の由、由沙血條の由、清き、有、由、産、由、家、門、方、の、由、事、ハ
一、由、也、此、由、座、主、非、沙、諸、代、菊、同、の、由、根、本、大、右、小、右、と、始、り、能
令、市、候、向、の、大、右、亮、有、り、と、廣、長、五、辛、庚、子、の、兵、礼、己、後、百
三、十、年、と、未、の、候、ハ、清、高、由、沙、代、の、由、思、ハ、所、也、是、の、由、續
も、由、三、家、門、聖、名、と、有、ハ、唯、大、右、の、候、ハ、あ、ら、ま、り、分、り、り、
由、量、の、由、し、是、と、ハ、

東照宮様の清神思、候、由、沙、思、と、成、と、有、り、而、ハ、由、候

享保十三大石

大道寺公山繼之



落穂集追加巻之五

大石

